

連載
112回

くにごの県庁見聞録

責任の重み②

(司会) くにごさん、県庁への初登庁はいつですか？

(くにご) 新議員としては、4月26日が説明会、団会議開催、5月2日が新しい議員記章の交付だったんです。だから新議員としての初登庁という就先月26日だったんでしょうか？

(司会) へー、改選期毎にバツジをもらうんですか？

(くにご) そうです。レプリカはいつでも販売してますけど、本物は4年に1度いただくんです。でも男性の記章は背広の襟の切り込みに収まるネジ式なんです。女性用の議員記章は安

よ。女性用の議員記章は安全ピンのようなものがついているタイプで、あまり立派ではないんです。議会での男女差を痛感しますよ。

(司会) くにごさんは、もう4期目ですから、4個頂いたことになるんですね。

(くにご) はい、4つともお仏壇に飾ってあります。普段はレプリカをつけているんですよ。

(司会) そうですか。手垢で汚れて、擦り切れたバツジが期数を重ねた貫禄だと聞いてましたが、くにごさんはそういう点にはこだわらないんですね？

(くにご) エエ。表面よりも議員はその活動内容が重要です。形も大事でしょうけど、私が4期目の県会



神奈川県議会議員

小川くにご

川崎市高津区久本2-7-34

☎044(865)1313

☎044(888)3600

http://www.kinet.or.jp/
seseragi/

くにごのプロフィール

- 久本在住、夫・小川栄一
- 都立小石川高校卒
- 早稲田大学第一文学部
英米文学科卒
- 元横浜YMCA予備校英語科講師
- 川崎北部菊花会会長
- 高津競艇ソフトボールリーグ顧問
- 高津区ゲートボール協会副会長
- NPO法人理事(在宅介護支援施設)

議員として、どんな活動をしていくかが問われているのだと思います。26日には被災地に対する県の対応を再確認する会議も行われましたし、選挙で中断された議員としての仕事を一時も早く継続していかねければならないでしょう？ そうでなければ、どんな対応も行政だけでできるという事になってしまいますよ。常に議員として何をすべきかを自分自身に問い続ける事。それが大事だと、私は思います。重い責任があるんですよ。